

防災に挑む!! 学びの探究 アドベンチャー

探究学習に当たって、情報の収集と分析は欠かせません。
阪神淡路大震災30年に当たって、データを手がかりに
震災の真相を掘り下げる神戸新聞社の取り組みを紹介し
ながら、問いの立て方を学ぶワークショップを
神戸と和歌山を結んで開催します。

12.21 Sat 19:00-20:30

プレイベント@オンライン

『あなたの「おいしい」は何から？
自分の価値観探究ワークショップ』

- ・アイスブレイク（自己紹介など）
- ・自分の食の価値観を知るワーク
- ・災害時にも大事にしたい価値観を考える

12.26 Thu 13:30-16:30

実践編 @ 神戸新聞神戸本社14階（定員50名）
和歌山県立串本古座高校（定員50名）

『探究ワークショップ
—違いを楽しむ 問いづくりを楽しむ—』

- ・神戸新聞の記者によるお話
「防災の原点神戸から。阪神・淡路から30年」
- ・「違いを楽しむ 問いづくりを楽しむ」
- ・発表、交流

※ 神戸会場か和歌山会場のどちらかに
お越しください。実施内容は同じです。

お申込みは
こちら



概要

阪神・淡路大震災から30年を迎え、これからの防災を考える神戸。この阪神・淡路をきっかけに、いまの日本の制度や災害対策が整えられました。そして、南海トラフ巨大地震に備えて防災に取り組む和歌山県。今回はその2つの地域が連携した、参加無料のプログラムです。

「災害の時に、何を食ったら自分の心も身体も生きのびるのか？」自分の価値観を深掘したり、データをもとに情報を整理する力をつけたり、自分の関心とかけあわせる考え方を体験いただきます。

タイムテーブル

Day1 12/21(土) オンラインルーム開室 18:45 / 開始 19:00 - 20:30

- 19:00 オープニング
- 19:05 アイスブレイク(自己紹介など)
- 19:20 探究ワークショップ『あなたの「おいしい」は何から?自分の価値観探究ワークショップ』
(講師:株式会社omochi 土井 仁吾)
①自分の食の価値観を知る ②災害時にも大事にしたい価値観を考える
- 20:20 クロージング

※すべてオンラインでの実施となります。スマートフォンやタブレット、PCなどからご参加ください。

Day2 12/26(木) 開場 13:00 / 開始 13:30 - 16:30

- 13:30 オープニング
- 13:50 震災についてレクチャー『震災前夜からの記憶』
(講師:株式会社神戸新聞社 三好 正文)
- 14:40 休憩
- 14:50 探究ワークショップ・発表『違いを楽しむ 問いづくりを楽しむ』
(講師:合同会社楽しい学校コンサルタントSecond 前田 健志)
- 16:20 クロージング

ワークショップ内でも
アイスブレイクの
時間があります。

※神戸会場か和歌山会場のどちらかにお越しください。実施内容は同じです。

※タイムテーブルは変更する可能性があります。

講師



前田 健志

合同会社楽しい学校
コンサルタントSecond代表
(石川県・金沢在住)



土井 仁吾

株式会社omochi代表
(北海道・札幌出身)



土井 実桜

株式会社omochi
管理栄養士、講師
(大阪府・東大阪出身)



三好 正文

株式会社神戸新聞社
NIE・NIB推進部
シニアアドバイザー
(東京育ち)

お申し込み

参加申込



対象: 高校生 ※中学生の参加も可能です。

申込締切: 2024年12月13日(金) 17時

「21日だけ」「26日だけ」等、単日の参加も可能です。

和歌山県、兵庫県外にお住まいの方もふるってお申し込みください。

学校の先生方へ) 先生方のご参加も受付ております。申込フォームよりご参加ください。

お問い合わせ

株式会社神戸新聞社 担当: 鄭(テイ) tei-yr@kobe-np.co.jp ☎ 078-362-7099 (平日10-18時)